

福生市環境基本計画実行計画

26

(平成 26 年度実行計画進捗状況)

◆福生市環境基本計画実行計画の策定について

◆福生市環境基本計画実行計画

戦略プロジェクトの展開 - - - - - P 1

- 1 地球にやさしいライフスタイル転換プロジェクト - - P 1
- 2 自然や緑を守りつくるプロジェクト - - - - - P 1
- 3 福生らしい水辺の景観づくりプロジェクト - - - - - P 1

分野別施策 - - - - - P 1

第1節 自然の保全・再生 - - - - - P 1

- 1 自然の水循環、多摩川の再生 - - - - - P 1
- 2 都市の自然の再生 - - - - - P 2

第2節 潤い豊かな安心できるまちの創造 - - - - - P 3

- 1 福生らしい景観、資源を活かすまちづくり - - - - - P 3
- 2 安心して歩ける道・緑の街づくり - - - - - P 4

第3節 暮らし方の変革・地球システムへの融合 - - - - - P 5

- 1 ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進 - - - - - P 5
- 2 地球環境問題・公害等への取り組み - - - - - P 6

計画の推進 - - - - - P 8

第1節 環境教育・学習の推進 - - - - - P 8

第2節 パートナーシップの確立 - - - - - P 9

- 1 協働事業の明確化 - - - - - P 9
- 2 町会・自治会への働きかけ - - - - - P 9
- 3 協働による事業推進の方法の確立 - - - - - P 10

第3節 計画推進体制の確立 - - - - - P 10

- 1 環境マネジメントシステムのレベルアップ - - - - - P 10
- 2 事業化システムの研究 - - - - - P 10

◆福生市環境基本計画実行計画の策定について

1 目的

この福生市環境基本計画実行計画（以下「実行計画」という。）は、福生市環境基本計画中期実施計画に定める目標及び市の具体的な取り組みを着実に推進するため、実行計画として策定した。

2 実行計画の内容等

- （1）本実行計画は、福生市環境基本計画中期実施計画の基本目標達成のための具体的な取り組み事項及びその内容、計画年度等を明らかにした。
- （2）平成 26 年度の実行計画の進捗状況、実施状況を評価し、表中に記載する。

【評価基準】

実施評価		状況評価	
実施できた（100%）	A	順調に進んでいる（100%）	①
おおむね実施できた（80%）	B	ほぼ順調（80%）	②
やや実施できた（50%）	C	多少低調気味（50%）	③
未実施	D	低調	④

【評価理由】

評価理由については状況評価の評価理由を記載。

実施評価で「D：未実施」の場合については、状況評価を行えないため「D：未実施」の理由を記載。

3 推進体制

- （1）本実行計画は、福生市環境事業推進会議が進行管理し、進行状況を福生市環境審議会に報告し、意見を求める。
- （2）本実行計画の進行状況については、市のホームページにより市民に公表する。

平成26年度環境基本計画実行計画

No	環境基本計画体系			頁	事業名(施策・取組の方向性)	担当				内容	年度計画	決算額(円)	会計区分				平成26年度実績等			
						部	課	係	区分				再掲区分	款	項	目	事業	事業量(回数、参加人数等)	実施評価	状況評価
1	戦略プロジェクト	地球にやさしいライフスタイル転換プロジェクト	ごみを資源化する	生ごみ減量化への社会実験	10	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続	減量化呼びかけ、生ごみ処理機等補助効果の実態調査	国、都の動向、近隣市町村の状況と費用対効果などを調査し、検討する。	0					国、都の動向、近隣市町村の状況と費用対効果などを調査し、検討した。	A	①	可燃ごみの収集量は年々減少している。
2	戦略プロジェクト	地球にやさしいライフスタイル転換プロジェクト	ごみを資源化する	食用廃油リサイクルの研究	10	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続	実態調査	国、都の動向、近隣市町村の状況と費用対効果などを調査し、検討する。	0					国、都の動向、近隣市町村の状況と費用対効果などを調査し、検討した。	A	②	未だ導入実績は少ない。
3	戦略プロジェクト	地球にやさしいライフスタイル転換プロジェクト	自転車のまちをつくる	電動アシスト自転車レンタサイクルシステム運営の研究	11	生活環境部	環境課	環境係	継続	電動アシスト自転車のサイクルシェアリングにより、市内回遊性の向上による地域活性化と低炭素な移動手段による地球温暖化対策として地球にやさしいまちづくりを目指す。(H25までの実証実験を踏まえ、H26から本格実施)	本格実施に伴い、福生市公式イメージキャラを活用し「たっけー☆サイクル」として周知を図る。また、牛浜ステーションの移設、福祉センターへのステーション増設を計画。	11,474,661	衛生費	保健衛生費	環境保全費	サイクルシェアリング事業費	牛浜駅東口自転車駐車場内から牛浜駅東口駅舎下へのステーションの移設及び福祉センター駐車場内にステーション増設を行い、さらなる利便性の向上を図った。	A	①	南田園エリアにおけるステーション増設の要望に対応した。
4	戦略プロジェクト	自然や緑を守りつくるプロジェクト	湧水を守る	湧水モニタリング調査、湧水地点での生き物調査	12	生活環境部	環境課	環境係	継続	湧水保全方針の策定、湧水モニタリング調査、湧水地点の生き物調査	湧水地点の整備や湧水保全方針策定のため市内の湧水実態調査を行う。	0					月1回を目安に、湧水3箇所と多摩川の水質検査を行った。また、その中で春夏秋冬の代表月については、湧水6箇所と多摩川の水質検査を行った。実施回数：11回	B	②	法政大学山崎ゼミナールとの打ち合わせを行い、学生と協働して、5月から、月1回の湧水実態調査を行った。
5	戦略プロジェクト	自然や緑を守りつくるプロジェクト	自然を守りつくる	市民による樹林管理体制の強化	12	都市建設部	道路公園課	公園グループ	継続	福生萌芽会、水喰土公園ボランティアをはじめ、公園ボランティアを活用した樹林管理体制を推進していく。	市民ボランティアを活用した緑地管理にむけて検討、研究をしていく。	0					福生萌芽会 毎月1回 平均参加者 13人 水喰土公園ボランティア毎月1回 加美上水ボランティア毎月2回	B	②	新たに加美上水ボランティアも加わり、積極的に緑地管理に携わっていただいた。
6	戦略プロジェクト	自然や緑を守りつくるプロジェクト	自然を守りつくる	自然再生事業の展開	12	都市建設部	道路公園課	公園グループ	継続	可能な場所からの公園の裸地等の樹林地化・ピオトープ化・森林遷移モデル実験区域の設定、野鳥観察所の整備が図れるよう検討・研究していく。	福生の代表的な緑地である玉川上水緑地、多摩川緑地、熊川緑地、原ヶ谷戸緑地について順次、自然再生が図れるよう萌芽更新等を研究・検討していく。	0					1回	C	③	27年度の事業実施に向け、緑地については検討した。
7	戦略プロジェクト	福生らしい水辺の景観づくりプロジェクト	熊川分水を活かすまちをつくる	熊川分水保全学習の展開	13	教育委員会	公民館	白梅分館	継続	熊川分水の文化的・自然的価値を再発見する講座、子ども探検隊等の開催	熊川分水たんけん隊 1コース 2回 熊川分水に親しむ講座 1コース 4回	96,776	教育費	社会教育費	公民館費	講座等開設費	熊川分水たんけん隊 1コース1回 参加者21名 熊川分水に親しむ講座1コース5回 参加者延べ41名	B	②	熊川分水たんけん隊については実施段階で回数を1回に減した
8	戦略プロジェクト	福生らしい水辺の景観づくりプロジェクト	熊川分水を活かすまちをつくる	保全・活用方針の検討	13	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	用水保全及び修景ルールの研究・確立	熊川分水に親しむ会と福生市との協働により保全に努める。	0					担当部署と定期的に意見交換会を実施し、維持保全や要望についての検討を行っている。所有者の協力が得られ、公道に面する部分について市が維持管理を行う方針となった。	A	①	市民との協働により、維持保全や要望についての検討を行っている。
9	戦略プロジェクト	福生らしい水辺の景観づくりプロジェクト	熊川分水を活かすまちをつくる	森田製糸跡地に残る熊川分水の保護・管理	13	企画財政部	企画調整課	企画調整担当	継続	都への働きかけ	都へ環境整備等の要望を行う。	0					都への要望を1回行った。	A	②	東京都市長会を通じて要望を行った。
10	戦略プロジェクト	福生らしい水辺の景観づくりプロジェクト	玉川上水沿いに遊歩道をつくる	保全・活用方針の検討	14	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	上水沿いの市道・水道局用地・市有地の遊歩道化の可能性調査	東京都水道局及び福生警察署等と調査中。今後も引き続き行う。	0					玉川上水沿いの一方通行の路線を通行止めにし、遊歩道にするよう福生警察署に要望中である。	B	②	継続して福生警察署に要望中である。
11	戦略プロジェクト	福生らしい水辺の景観づくりプロジェクト	玉川上水沿いに遊歩道をつくる	都事業化への働きかけ	14	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	都「史跡玉川上水整備活用計画」計画対象区間延伸への働きかけ	平成25年度と同様に「史跡玉川上水整備活用計画」の計画対象区間の上流部まで延伸を都へ要請する。	0					景観推進連絡会と協働により要請を行った。	A	①	継続して東京都水道局に要請している。
12	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	①水質汚濁防止・河川水量の確保	16	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	水質汚濁防止・河川水量の確保	河川維持水量の確保に向けて、関係機関への働きかけを継続。	0					国交省に対して要望した。	A	①	河川維持水量の確保に向けて、関係機関への働きかけを継続
13	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	①水質汚濁防止・河川水量の確保	16	都市建設部	施設課	下水道グループ	継続	下水道への油や界面活性剤、洗車等による汚染物の混入防止のため水質汚濁防止の啓発。また、河川維持水量の確保に向けて、関係機関への働きかけを継続。	市内事業者に対して下水道法に基づく特定施設の届出・水質管理を継続して指導を行う。	981,327	下水道	1総務費 1総務管理費	2維持管理費	下水道施設維持管理費	市内事業者に対して下水道法に基づく特定施設の届出・水質管理を継続して指導を行う。	A	①	26年度異常値なし
14	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	②湧水の保護	16	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	湧水の保護	清岩院など拝島段丘の崖線に連なる湧水群及びその周辺環境の保護を図る保全方針の策定。	0					緑の基本計画に基づき、その中で検討していく。	B	②	緑の基本計画に基づき、湧水の維持について検討した。
15	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	②湧水の保護	16	生活環境部	環境課	環境係	継続	再掲	湧水保全方針の策定、湧水モニタリング調査、湧水地点の生き物調査(No.4)	湧水地点の整備や湧水保全方針策定のため市内の湧水実態調査を行う。	0				月1回を目安に、湧水3箇所と多摩川の水質検査を行った。また、その中で春夏秋冬の代表月については、湧水6箇所と多摩川の水質検査を行った。実施回数：11回	B	②	法政大学山崎ゼミナールとの打ち合わせを行い、学生と協働して、5月から、月1回の湧水実態調査を行った。

平成26年度環境基本計画実行計画

No	環境基本計画体系				頁	事業名(施策・取組の方向性)	担当			区分	再掲区分	内容	年度計画	決算額(円)	会計区分				平成26年度実績等			
	部	課	係	款			項	目	事業						事業量(回数、参加人数等)	実施評価	状況評価	評価理由				
16	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	③地下水のかん養・冠水防止	16	地下水のかん養・冠水防止	都市建設部	施設課	下水道グループ		継続	「東京都環境確保条例」に基づき、地下水の揚水量指導に努める。また、浸透性舗装の拡大や一般宅地での雨水浸透ますの設置助成、宅地開発における雨水浸透ます設置の指導を行う。	浸透性舗装の推進や一般宅地での雨水浸透ますの設置助成、宅地開発における雨水浸透ます設置の指導を行い地下水涵養に努めていく。	389,000	下水道	2事業費 1下水道整備費	1管渠費	雨水浸透施設設置事業費	H.Pにて周知、環境フェスティバル、七夕、産業祭にブース出展 26年度：3箇所(13個) 助成額：389,000円	A	②	昨年度実績を下回ったが、防災計画総合治水に位置することで、今後も推進していく。
17	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	③地下水のかん養・冠水防止	16	地下水揚水量報告事務	生活環境部	環境課	環境係		継続	「東京都環境確保条例」に基づき、地下水の揚水量指導に努める。	東京都環境確保条例に基づき、地下水揚水量報告書の提出と揚水規制業務、地盤沈下対策のため適正使用指導を行う。	0					市内17事業所から地下水揚水量報告書の提出とともに、適正使用について指導を行った。	B	②	事業者の適正使用の徹底が図れた。
18	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	④雨水利用の推進	16	雨水貯留槽設置助成金制度	都市建設部	施設課	下水道グループ		継続	家庭用雨水貯留槽の設置助成	年3回広報、コミュニティビジョン、福生市H.Pに掲載して周知。環境フェスティバル・産業祭にブース出展を実施してPR。市庁舎1階フロアに雨水貯留槽実物展示によりPR。七夕まつりにてPR実施。予算：20基について設置助成を計画	279,000	下水道	1総務費 1総務管理費	1一般管理費	雨水貯留槽設置助成事業費	広報4、7、8月に掲載、H.Pにて周知、環境フェスティバル、七夕、産業祭にブース出展、市庁舎1階に実物展示。 26年度：8基 助成額：279,000円	A	①	昨年度実績を上回る。防災計画総合治水に位置するので、今後も推進していく。
19	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	④雨水利用の推進	16	公共施設における雨水貯留施設の整備	都市建設部	施設課	建築グループ		継続	公共施設における雨水貯留施設の整備	公共施設における雨水貯留施設の整備の検討をする。	0					検討したが実施なし	A	②	わかたけ会館改良工事について検討を実施したが、雨水の利用が見込めないため、未実施とした。
20	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	④雨水利用の推進	16	公共施設における雨水利用の促進	総務部	契約管財課	管財係		継続	公共施設における雨水利用の促進	雨水をトイレの洗浄水に再利用し節水を図っている。	0					年間中水使用料 1,181m ³ 雨水タンクに溜まった全量を再利用することができた。	A	①	雨水タンクの全量を再利用した。
21	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	河川生態系の保全	①河川防災施設の整備	17	河川防災施設の整備	都市建設部	まちづくり計画課	計画G		継続	用水堰による堆積土砂の除去や護岸などの補修・補強について、関係機関への働きかけを継続。	例年どおり京浜河川事務所に要望していく。	0					京浜河川事務所に堆積土砂の除去や護岸等の補修・補強について要望した。	A	①	用水堰による堆積土砂の除去や護岸等の補修・補強について、関係機関への働きかけを継続している。
22	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	河川生態系の保全	②川の自然観察等の促進	17	福生水辺の楽校	生活環境部	環境課	環境係		継続	福生水辺の楽校の学習プログラム等を通し、川とその周辺の自然環境、生きものへの親しみ、生物多様性への理解を深める。	福生水辺の楽校「多摩川で遊ぼう」(12回)、「多摩川サポーターズ」(4回)で、多摩川に生きている生物や植物について自然観察を行い、多摩川への理解を深めるプログラムを実施。	1,400,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	福生水辺の楽校「多摩川で遊ぼう」全12回(1回中止)477人。 福生水辺の楽校「多摩川サポーターズ」全4回107人。	A	①	福生水辺の楽校運営協議会への委託事業。毎年参加者から好評を得て実施している。
23	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	河川生態系の保全	③河川環境保全活動の推進	17	河川環境保全活動の推進	都市建設部	道路公園課	公園グループ		継続	市民による河川一斉清掃を行い河川植生の再生などを支援。	市民ボランティアの協力による多摩川河川清掃を実施していく。	0					河川清掃実施 6月1日 114人参加	A	①	例年通り環境フェスティバルと同時実施
24	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	河川生態系の保全	③河川環境保全活動の推進	17	カワラノギクプロジェクト	生活環境部	環境課	環境係		継続	多摩川に残された生育地において市民、研究者、行政が協力しカワラノギクの絶滅を回避するため、保全・復元作業を行う。	カワラノギクプロジェクトにより河川植生の再生などを支援。	0					年間4回に渡る保全活動のボランティア募集広報とともに活動へ参加した。	A	①	毎回活動に参加し、植生の再生支援ができた。
25	自然の保全・再生	都市の自然の再生	四つの自然軸の保全	①まとまった樹林地の確保	19	まとまった樹林地の確保	都市建設部	まちづくり計画課	計画G		継続	自然度の高い樹林地の連続性を保ち、都市計画公園や都市計画緑地として確保するため、緑の基本計画と併せ取り組む。	継続して緑地の確保に努める。	0					宅地開発等の事前打合せ等において、緑地の確保量について事業者の説明を行った。	B	②	宅地開発等の事前打合せ等において、緑地の確保量について事業者の説明を行っている。
26	自然の保全・再生	都市の自然の再生	四つの自然軸の保全	②樹林地等の開発抑制・保全	19	生垣保存協定補助制度	生活環境部	環境課	環境係		継続	福生市の緑を守り育てる条例に基づき、10年以上にわたる生垣の設置にかかる費用の補助制度により持続性の高い方法で保全。	生垣の設置にかかる費用の補助。	85,000	農林水産業費	農業費	緑化推進費	緑化推進費	生垣設置1件、延長17m	A	①	申請内容について、慎重かつ、丁寧な対応を取っている。
27	自然の保全・再生	都市の自然の再生	四つの自然軸の保全	②樹林地等の開発抑制・保全	19	樹林地等の開発抑制・保全	都市建設部	まちづくり計画課	計画G		継続	東京都景観保全条例による規制、福生市宅地開発等指導要綱による指導をはじめ保存樹林地等の確保、緑地保全地区の指定など、持続性の高い方法で保全。	緑確保の総合的な方針(東京都)に基づき樹林地等の保全に努める。	0				福生市宅地開発等指導要綱に基づき、指導を行った。	B	②	緑確保の総合的な方針(東京都)に基づき、樹林地等の保全の啓発に努めている。	
28	自然の保全・再生	都市の自然の再生	四つの自然軸の保全	②樹林地等の開発抑制・保全	19	保存樹林地指定制度	生活環境部	環境課	環境係		継続	福生市の緑を守り育てる条例に基づき、保存樹林地指定制度の継続により持続性の高い方法で保全。	保存樹林地等の指定及び奨励金の交付。	4,289,727	農林水産業費	農業費	緑化推進費	緑化推進費	宅地介在山林(5件・7筆・4,801m ²)、一般山林(4件・7筆・1,348m ²)、保存樹木(39件・177本)、保存生垣(152件・158箇所・延長3,143m)	A	①	奨励金事業としては所有者1件1件に丁寧な対応を取っている。
29	自然の保全・再生	都市の自然の再生	都市の自然生態系の再生	①街区公園等の維持管理	20	街区公園等の維持管理	都市建設部	道路公園課	公園グループ		継続	緑の基本計画に沿い、市街地の身近な公園を適正に維持管理するとともに公園ボランティア制度の促進を図る。	定期的な公園の巡回、公園ボランティアの活用を図ることで市街地の身近な公園を適正に維持管理するとともに公園ボランティア制度の促進を図っていく。	0					平成26年度末 414人 10団体 登録	A	①	継続して順調に行っている

平成26年度環境基本計画実行計画

No	環境基本計画体系			頁	事業名(施策・取組の方向性)	担当			再掲区分	内容	年度計画	決算額(円)	会計区分				平成26年度実績等			
						部	課	係					区分	款	項	目	事業	事業量(回数、参加人数等)	実施評価	状況評価
30	自然の保全・再生	都市の自然の再生	都市の自然生態系の再生	20	②自然再生事業の展開	都市建設部	道路公園課	公園グループ	継続	都市計画公園や都市緑地などの樹林地や草地などについて、その場所にあった自然のあり方を調査するとともに、萌芽更新など自然再生の取り組みを推進。	熊川緑地、原ヶ谷戸緑地について、その場所にあった自然のあり方を調査するとともに、萌芽更新など自然再生の取り組みを推進していく。	0					1回	C	③	調査する時間が少なく、自然再生の取り組みを推進できなかった。
31	自然の保全・再生	都市の自然の再生	都市の自然生態系の再生	20	②自然再生事業の展開	生活環境部	環境課	環境係	新規	神社、仏閣、蔵、木造住宅の屋根裏等に住みつくアライグマやハクビシンなどの外来性動物の捕獲防除を中心に行い、生態系の保全、農業被害、狂犬病などの感染症予防を図る。	市民からの情報提供を受けるため定期的な広報掲載を行うとともに、委託事業により外来性動物の捕獲防除を中心に行う。	388,800	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	捕獲実績：アライグマ3匹、ハクビシン12匹	B	②	目撃情報に比べて捕獲場所が少ないため。
32	自然の保全・再生	都市の自然の再生	都市の自然生態系の再生	20	③林の自然観察等の促進	都市建設部	道路公園課	公園グループ	継続	生態系や生物多様性の調査・観察会など、市民団体の様々な活動を支援するとともに、外来種の野生化に関する知識など生物多様性の確保について市民へ情報提供。	緑地樹木等調査委託の結果を基に、生態系や生物多様性の確保について調査、研究していく。	0					1回	C	③	調査に基づいた研究等が十分に出来ていない。
33	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	22	①景観まちづくり事業の推進	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	まちづくり景観基本計画に基づき、重点的の事業を推進。また、まちづくり景観推進連絡会、まちづくり景観審議会などの推進体制により景観形成を進めていく。	前年度と同様に、まちづくり景観推進連絡会等と景観について検討する。	0					景観推進連絡会を毎月開催した。	A	①	景観推進連絡会を毎月開催するとともに、協働により宿橋通りの整備を図った。
34	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	22	①景観まちづくり事業の推進	都市建設部	道路公園課	道路グループ	継続	まちづくり景観基本計画に基づき、重点的の事業を推進。また、まちづくり景観推進連絡会、まちづくり景観審議会などの推進体制により景観形成を進めていく。	引き続き景観に配慮した歩車共存道として市道第1160号線(宿橋通り)の改良工事を実施する。	58,891,377	土木費	道路橋りょう費	道路新設改良費	市道第1160号線改良事業費	延長L=303.9m 幅員W=6.5m インターロッキングブロック舗装工 A=738㎡ 車道舗装工事 A=447㎡ 引込・連系管引込工事 一式	A	①	宿橋通りを景観に配慮した歩車共存道として整備したことにより、福生らしい景観を活かすまちづくりの推進に努めた。
35	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	22	②自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	生活環境部	環境課	環境係	継続	アメリカシロヒトリ防除	多摩川の堤防沿いの桜に発生するアメリカシロヒトリを防除し、美しい緑を守る。	22,356	農林水産業費	農業費	緑化推進費	アメリカシロヒトリ防除費	1箇所9本の樹木について防除を行った。	A	①	多摩川の堤防沿いの桜に発生する害虫を防除することで、春に桜の花の開花を見ることが出来る。
36	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	22	②自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	自然・歴史・文化的景観資源を調査し、その場の雰囲気を保ちつつ保全・活用を進める。	毎月、まちづくり景観推進連絡会を開催する。また、年に1回、まちづくり景観フォーラムを開催する。	50,031	土木費	都市計画費	都市計画総務費	都市景観事業費	景観推進連絡会主催で3月15日に景観フォーラムを開催した。	A	①	景観フォーラムを開催することができた。
37	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	22	②自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	教育委員会	生涯学習推進課	文化財係	継続	文化財ガイド養成講座修了者による市内文化財ツアー等の実施	市内文化財ツアー等を実施(年4回程度)(講師謝礼)	20,000	教育費	社会教育費	文化財保護費	講座教室講師謝礼	市内文化財ツアー2回、参加者38人 ガイドフォローアップ講座1回10人	B	①	雨天中止等で実施回数が2回となったため。
38	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	22	②自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	生活環境部	環境課	環境係	継続	多摩川堤防沿桜管理	多摩川の堤防沿いの桜の管理を行う	1,263,600	農林水産業費	農業費	緑化推進費	緑化推進費	多摩川堤防沿いの桜の支障枝の剪定。6箇所	A	①	多摩川堤防沿いの桜の支障枝等の剪定等管理を行った。桜ソメイヨシノ278本
39	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	22	②自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	教育委員会	生涯学習推進課	文化財係	継続	郷土資料室事業「わくわく土曜日」のプログラムの一つとして、文化の森を中心に動植物の観察を行う。	自然観察会の開催(年2回予定)(講師謝礼)	40,000	教育費	社会教育費	文化財保護費	講座教室講師謝礼	自然観察会2回、参加者15人	A	①	内容、参加者等予定通り実施。
40	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	22	③違反広告物の撤去	都市建設部	道路公園課	管理グループ	継続	道路沿線の捨て看板、街中の張り紙など景観阻害物の撤去を進める違反広告物撤去協力員制度を推進。	違反広告物の撤去活動を実施する。	0					違反広告物撤去協力員17団体・114名 はり紙6枚、はり札432枚を撤去	A	①	違反広告物自体が少なくなってきた。
41	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	22	④清潔で美しいまちの維持	都市建設部	道路公園課	管理・道路グループ	継続	熊川分水の一斉清掃を始とした町会・自治会の一斉清掃を継続する。	平成23年7月1日に福生市清潔で美しいまちづくり条例が制定されたことを踏まえて、清潔で美しいまちづくりの推進を図っていく。	0					町会・自治会による熊川分水の一斉清掃を平成26年6月1日に実施した。	A	①	継続して実施することができた。
42	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	22	④清潔で美しいまちの維持	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続	町会・自治会の一斉清掃を継続し、ごみが捨てられにくい環境を維持。	市内を定期的に巡回し、清潔で美しいまちづくりの推進を図っていく。また、町会・自治会の一斉清掃を継続する。	5,208,279	衛生費	清掃費	清掃総務費	清潔で美しいまちづくり事業費	清潔で美しいまちづくり事業委託にて市内清掃と条例周知を行った。週3回、4人で巡回。町会・自治会一斉清掃実施。参加人数2,639人。	A	①	事業委託による清掃活動は認知されており、市民の理解が深まっている。一斉清掃は町会行事として定着しており、協力的である。
43	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	玉川上水などを活かしたまちづくり	23	①玉川上水沿いの遊歩道化	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	国指定史跡文化財「玉川上水」の歴史的環境と自然環境の保全を基本に、遊歩道化実現可能区間における歩行ルートの確保をめざした取り組みを進める。	現地にて、車道の通行止めを実施し、データを基に福生警察署とまちづくり景観推進連絡会とで協議していく。	0					継続して関係機関と調整した。	B	②	継続して関係機関と調整している。
44	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	玉川上水などを活かしたまちづくり	23	②散策路のネットワーク化	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	緑の多い安心して歩ける道をつなぎ、散策路のネットワーク化をめざす。	玉川上水の遊歩道を作るために、清岩院橋付近の一方通行路を通行止にして、渋滞の状況を調査する。	0					継続して関係機関と調整した。	B	②	継続して関係機関と調整している。

平成26年度環境基本計画実行計画

No	環境基本計画体系			頁	事業名(施策・取組の方向性)	担当			再掲区分	内容	年度計画	決算額(円)	会計区分				平成26年度実績等			
						部	課	係					区分	款	項	目	事業	事業量(回数、参加人数等)	実施評価	状況評価
45	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	玉川上水などを活かしたまちづくり	23	③熊川分水を活かすまちづくり	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	熊川分水を活かしたまちづくりを進めるため、水路の保存や水辺の環境整備に努める。同時に安全な歩行空間となるようなモデル的な取り組みに努める。	前年度と同様に、熊川分水に親しむ会と協働して熊川分水の保全についてさらに検討を進める。また、公民館の主催である、子ども自然探検隊等を開催し片倉跡地を有効利用していきたい。	248,400	土木費	道路橋りょう費	道路新設改良費	市道改良事業費	熊川分水に親しむ会と協働して、熊川分水の保全についての検討を進めた。	A	①	熊川分水に親しむ会と協働して、熊川分水の保全についての検討を進めた。また、所有者から同意を得た部分について保全に向けた準備を進めた。
46	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	玉川上水などを活かしたまちづくり	23	③熊川分水を活かすまちづくり	都市建設部	道路公園課	道路・公園グループ	継続	熊川分水を活かしたまちづくりを進めるため、水路の保存や水辺の環境整備に努める。同時に安全な歩行空間となるようなモデル的な取り組みに努める。	熊川分水の清掃活動を行うとともに、分水を活かしたまちづくりを進め、水路の環境整備に努めていく。	0					町会・自治会による熊川分水の清掃を平成26年6月1日に実施した。	A	①	継続して実施することができた。
47	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	安心できる道路・都市施設の整備	25	①地域バリアフリーの推進	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	バリアフリー推進計画に基づき、関係機関等と連携して公的施設、公園、道路、公共交通など、まちのバリアフリーを総合的に進め、誰もが安心して生活し、移動できる都市づくりをめざす。	都市計画マスタープランの策定において、バリアフリー推進計画に基づき関係機関と連携して進める。	0					都市マスタープランに基づき、バリアフリーを推進するため関係機関と連携に努めた。	B	②	都市マスタープランに基づき、バリアフリーを推進するため関係機関と連携に努めている。
48	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	安心できる道路・都市施設の整備	25	①地域バリアフリーの推進	都市建設部	道路公園課	道路・公園グループ	継続	バリアフリー推進計画に基づき、関係機関等と連携して公的施設、公園、道路、公共交通など、まちのバリアフリーを総合的に進め、誰もが安心して生活し、移動できる都市づくりをめざす。	第2期バリアフリー推進計画に基づき、関係機関等と連携して公的施設、公園、道路、公共交通など、まちのバリアフリーを総合的に推進、誰もが安心して生活し、移動できるネットワーク化を取り入れた都市づくりを目指していく。	0					市道幹線Ⅱ-19号線外1改良工事(第3工区) L=417m W=10m(車道) W=3m×2(歩道)	A	①	継続して実施することができた。
49	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	安心できる道路・都市施設の整備	25	①地域バリアフリーの推進	福祉保健部	社会福祉課	庶務・福祉計画担当	継続	バリアフリー推進計画に基づき、関係機関等と連携して公的施設、公園、道路、公共交通など、まちのバリアフリーを総合的に進め、誰もが安心して生活し、移動できる都市づくりをめざす。	まちのバリアフリーを総合的に推進し、新築、改築等については東京都福祉のまちづくり条例に基づき、設計段階から指導していく。	0					バリアフリー推進計画における施設のバリアフリーでは、道路2件、建築物等2件の整備が図られた。	A	①	東京都福祉のまちづくり条例に基づく整備基準を準用かつ順守した。
50	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	安心できる道路・都市施設の整備	25	②中心商業地区の安全化・快適化	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ	継続	商店街振興プランに基づき、商栄会等、関係機関と連携し、駅周辺商業地域の再生をめざし買い物・交流の街づくりを進める。	商店街が行うイベント事業、活性化事業に対し必要な補助金を交付することで、商店街の振興を図る。	9,174,000	商工費	商工費	商工業振興費	商工業振興費	東京都新・元気をかせ商店街事業費補助金を活用し、事業を実施した商店街への助成を行った。 イベント事業12件 活性化事業3件	A	①	商店街の振興・活性化による商業地区の安全化・快適化を図った。
51	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	安心できる道路・都市施設の整備	25	③生活道路の安全化	都市建設部	道路公園課	道路グループ	継続	地域や警察署と連携し、交通規制、道路構造の改善など様々な工夫により、「歩車共存」の生活道路整備を推進。	地域や警察署、相武国道、東京都と連携し、交通規制、道路構造の改善など様々な工夫により、ネットワーク化された「歩車共存」の生活道路整備を推進。平成26年度も引き続き宿橋通りの工事を実施。	58,891,377	土木費	道路橋りょう費	道路新設改良費	市道第1160号線改良事業費	延長L=303.9m 幅員W=6.5m インターlockingブロック舗装 A=738㎡ 車道舗装工事 A=447㎡ 引込・連系管引込工事 一式	A	①	宿橋通りを景観に配慮した歩車共存道として整備したことにより、福生らしい景観を活かすまちづくりの推進に努めた。
52	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	安心できる道路・都市施設の整備	25	④道路美化ボランティア制度の促進	都市建設部	道路公園課	管理グループ	継続	道路美化ボランティア制度などにより、市民と協働した維持管理の拡充を図る。	道路美化ボランティア制度などにより、市民と協働した維持管理の拡充を図る。道路美化ボランティアを増やす。	0					道路美化ボランティア18団体・373名	A	①	継続して実施することができた。
53	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	26	①住宅や事業所などの緑化	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	道路美化ボランティア制度などにより、市民と協働した維持管理の拡充を図る。	福生市宅地開発等指導要綱に基づいた指導を行っていく。	0					福生市宅地開発等指導要綱に基づき、指導を行った。	A	①	継続して要綱に基づいた指導を行っている。
54	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	26	②公共施設等の緑化	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	公共施設については、可能な限り緑地を確保するとともに、緑化を推進する。	公共施設については、可能な限り緑地を確保するとともに、緑化を推進する。緑の基本計画に基づき保全に努める。	0					緑の基本計画に基づき、保全に努めた。	A	①	緑の基本計画に基づき、保全に努めている。
55	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	26	②公共施設等の緑化	都市建設部	施設課	建築グループ	継続	公共施設については、可能な限り緑地を確保するとともに、緑化を推進します。	公共施設については、可能な限り緑地を確保するとともに、緑化を推進する。また、その後の適正な維持管理に努めていく。	5,058,317	教育費	小学校費	学校整備費	第七小学校校庭改良事業費	福生第七小学校校庭改良工事 芝生設置 480㎡ 予算科目 教育費 決算額 ¥26,105,760円のうち 芝生経費 ¥5,058,317円	A	②	平成27年度 五小にて完了
56	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	26	③生産緑地の保全・活用	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ	継続	市民農園の借り上げ体験型農園の展開などの検討	市民農園の管理・整備を行う	542,754	農林水産業費	農業費	農業振興費	市民農園管理費	農園更新に伴う整備工事の実施	A	①	2年間の使用期間を終了し、更新工事を実施し、新規利用者が耕作しやすい環境整備を行うことで活用を促進した。

平成26年度環境基本計画実行計画

No	環境基本計画体系			頁	事業名(施策・取組の方向性)	担当			再掲区分	内容	年度計画	決算額(円)	会計区分				平成26年度実績等			
						部	課	係					款	項	目	事業	事業量(回数、参加人数等)	実施評価	状況評価	評価理由
57	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	26	③生産緑地の保全・活用	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ	継続	生産緑地などを保全するとともに都市農業への支援策を推進。	福生市農業振興計画において重点項目としている生産緑地の追加指定を検討する。	0					東京都から生産緑地特区申請に向けた意向確認において福生市農業委員会として申請方向の意思表示を行った。	A	①	500㎡以上の農地が生産緑地指定可能なことから市内における追加指定が困難であり、500㎡の条件等が緩和される予定の特例申請の意向を示したことは農地保全の前進になる。
58	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	26	③生産緑地の保全・活用	生活環境部	環境課	環境係	継続	自然とともに暮らす楽しみ、自分らしいエコスタイルの発見、環境への負荷が少ない持続可能な暮らし方を考える場として実施。畑での大豆を栽培し、収穫した大豆で豆腐作り等を行う講座を開催する。	環境学習リーダー育成のための環境学習の推進。「ふっさE C Oカフェ」と称した畑での農作業体験型講座の実施。	708,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	大豆栽培、枝豆収穫、豆腐作り。全6回。延べ111人。	A	①	事業を通じ、市民が身近に環境について考え学び活動できた。
59	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	26	④花や緑のあるまちづくり	生活環境部	環境課	環境係	継続	多摩川中央公園、長徳寺崖線、福生野球場内、南田園二丁目の花壇を管理し花や緑あふれるまちづくりを展開する。	中央公園、長徳寺崖線、福生野球場内、南田園二丁目の花壇管理(除草、耕運)を行う。	442,800	農林水産業費	農業費	緑化推進費	緑化推進費	福生野球場植込み地管理工46㎡×3回、100㎡×1回、多摩川中央公園花壇管理工405㎡×4回、南田園二丁目花壇管理工262㎡×1回、南田園花壇管理工264㎡×1回、72㎡×1回	A	①	多摩川中央公園、長徳寺崖線、福生野球場内、南田園二丁目花壇を管理し花や緑あふれるまちづくりを展開した。
60	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	26	④花や緑のあるまちづくり	生活環境部	環境課	環境係	継続	花と緑のあるまちづくりのため春と秋の花いっぱい運動に合わせたふっさとみどりの会の活動により、花いっぱいに満ちあふれたまちづくり事業を展開していく。	ふっさとみどりの会へ委託し、花いっぱい運動(春・秋の2回)に合わせた花植えやコンテストを行う。(一部については福生スクラムマイナス50%協議会事業として行う)	686,000 [58,924]	農林水産業費	農業費	緑化推進費	緑化推進費	花いっぱい運動やふっさとみどりの会の活動により、やなぎ通り110箇所、国道16号53箇所の植栽を行った。	A	①	春と秋の花いっぱい運動、プランターや植栽ますの植栽を通じ、市内を花いっぱいにする事ができた。
61	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	26	④花や緑のあるまちづくり	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ	継続	「花いっぱい運動」など市民の緑化活動との連携を図り、花苗の生産委託を行う。	グリーンクラブ福生へ花苗の生産委託を行う。	7,255,450	農林水産業費	農業費	農業振興費	農業振興費	グリーンクラブ福生へ草花苗の生産委託を年2回行った。	A	①	緑豊かな環境づくりに寄与した。
62	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	26	⑤公園ボランティア制度の促進	都市建設部	道路公園課	公園グループ	継続	市民や地域による公園の維持管理を促進し、公園がコミュニティ活動の場となるよう取り組みを進める。	市民や地域による公園の維持管理を促進し、市民自らが公園を守ることで、公園がコミュニティ活動の場となるような取り組みを推進していく。	0					年1回市広報にて公園ボランティアを募集	B	②	ボランティア登録以外の方も自ら公園管理する人が増えた。
63	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	26	⑥人と動物の共生	生活環境部	環境課	環境係	継続	地域猫の会がモデル地区の飼い主のいない猫に対して、給餌や糞尿処理などを行い、去勢・不妊手術を施し、飼い主のいない猫の適正な飼育管理を行っていく。	市民団体と協力し地域猫制度等のPRに努めるとともに飼い主のモラルの向上を働きかける。団体には去勢・不妊手術費の助成を行う。	702,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	オス36頭、メス43頭 計79頭	B	②	手術件数は順調なものの、飼い主のいない猫の問題の解決には至っていない。
64	暮らし方の変革・地球システムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	ごみの発生抑制・処理負担の適正化	28	②ごみを減らす生活の呼びかけ	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続	ごみの発生抑制のため、無駄なものは断る・買わないから始め、大切に使うこと、不要となった場合の有効利用を考慮した消費行動・事業活動と呼びかける。	広報ふっさ、清掃だより等によりPR。	759,286	衛生費	清掃費	清掃総務費	清掃事務費	広報ふっさ(毎月15日号)にて、ごみ・資源収集情報を掲載。清掃だよりにてごみ減量と呼び掛け。	A	①	ごみの収集量は年々減少している。
65	暮らし方の変革・地球システムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	ごみの発生抑制・処理負担の適正化	28	③事業系一般廃棄物の減量	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続	事業系一般廃棄物処理計画書の指導など事業活動に伴う一般廃棄物の効果的な排出抑制につながる方法の工夫。	事業所に対して減量と呼び掛け。	0					各事業所から事業系一般廃棄物処理計画書の提出及び抜き打ち検査の実施をすることで、ごみ減量と資源化と呼び掛けた。	B	③	事業系ごみの処理量が増加した。
66	暮らし方の変革・地球システムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	ごみの発生抑制・処理負担の適正化	28	④拡大生産者責任に基づく事業活動への呼びかけ	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続	ごみ減量化や資源循環に向けた、経済活動・システムへの変革について、拡大生産者責任の原則に基づく事業者責任の強化・明確化を図るなど、自治体に配慮した制度の着実な実施を国に要望するとともに、市内における資源循環型事業活動への転換を呼びかける。	レジ袋削減、簡易な包装など、ごみになるものを削減していくことを事業者へ呼び掛け。	0					拡大生産者責任の明確化と「EPR(生産者責任法)」の整備について国に要請されたい旨京都市長会に継続要望した。	A	②	レジ袋を有料化している店舗は増加している。
67	暮らし方の変革・地球システムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	資源化・適正処理のためのシステム構築	29	①分別による資源化	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続	ごみの適切な資源化・処理が行われるように、排出時点での混入を防止するため分別・収集区分を明確化する。	ごみ分別の徹底。	0					平成26年4月から収集体制を変更し、全てのごみ・資源を自宅及び集積所から排出することにより、分別の徹底を図った。	A	①	ごみ量が減少し、資源化率が向上した。
68	暮らし方の変革・地球システムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	資源化・適正処理のためのシステム構築	29	②生ごみ等資源化	生活環境部	環境課	ごみ対策・リサイクル係	継続	生ごみや剪定枝の資源化に向けた様々な収集・資源化等処理方法を研究し、有効利用されるよう努める。	環境フェスティバルにおいて、コンポスト等の周知により、生ごみのたい肥化を啓発。市民に対してPRの徹底。	297,800 101,520	衛生費	清掃費	應芥処理費 ごみ減量対策費	中間処理費 ごみ減量対策費	市民から分別収集した剪定枝を堆肥化した。(15t)生ごみ堆肥化容器を貸与した。(15基)	A	①	剪定枝を堆肥化し有効利用した。可燃ごみの量は年々減少している。
69	暮らし方の変革・地球システムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	資源化・適正処理のためのシステム構築	29	③廃プラスチック類の処理	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続	リサイクルにかかわるエネルギー消費等も考慮しながら、廃プラスチック類の資源化技術の革新に応じ、再使用・再利用、熱回収などの処理方法・分別区分を改善する。	容器包装プラスチックの回収回数を増加	0					平成26年4月より容器包装プラスチックの回収回数を2週に1回から週1回に変更した。	A	①	容器包装プラスチックの回収量が増加した。

平成26年度環境基本計画実行計画

No	環境基本計画体系	頁	事業名(施策・取組の方向性)	担当			区分	再掲区分	内容	年度計画	決算額(円)	会計区分				平成26年度実績等			
				部	課	係						款	項	目	事業	事業量(回数、参加人数等)	実施評価	状況評価	評価理由
70	暮らし方の変革・地球システムへの適合	29	資源化・適正処理のためのシステム構築	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続	市民・事業者等による地域での再利用の促進や資源リサイクルシステムの強化に努める。	資源回収実施団体報償金制度を拡充し、地域リサイクルシステムを強化する。	15,416,802	衛生費	清掃費	ごみ減量対策費	ごみ減量対策費	資源回収実施団体に対し報償金を交付した。資源回収実施団体81団体、実施回数855回	A	①	前年度より実施回数が増加している。	
71	暮らし方の変革・地球システムへの適合	29	資源化・適正処理のためのシステム構築	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ	継続	定期的なフリーマーケット開催を支援することで、消費者自らが時代に即応した確かな目でものを見分け、自らの力で自主的、合理的な消費生活の実現をめざして行動することを支援する。	自由広場フリーマーケットの開催(年4回)商店街等が実施するフリーマーケットの周知。	0					広報4回、ホームページ6回更新、情報メール2回実施し周知を図った。	A	①	定例的な周知による支援を実施した。	
72	暮らし方の変革・地球システムへの適合	29	資源化・適正処理のためのシステム構築	生活環境部	環境課	リサイクルセンター係	継続	エココメント化など、最終処分場の延命化を進めるとともに、有害ごみ等の処分の適正さを確保する監査に努める。	埋め立てごみを減らすためにリサイクルセンターでの選別の徹底、資源化の検討。	0					埋め立てごみを減らすためにリサイクルセンターでの選別の徹底、資源化の検討を図った。	A	①	埋め立てごみは年々減少している。	
73	暮らし方の変革・地球システムへの適合	32	地球温暖化対策への取り組み	教育委員会	公民館	松林分館	継続	昔ながらの知恵や最新技術から省エネを念頭に家事がラクになるテクニックや暑さ寒さを乗り切る方法を学習する。	身近な暮らしの中で省エネを図り、地球温暖化対策への取り組みを考える学習会を実施する。	45,000	教育費	社会教育費	公民館費	講座等開設費	夏休み子ども教室において、「一閑張り」(使用済みの竹ザルに書き損じの和紙を張り、絵を描き、柿シブを塗る)を実施し、子どもたちにももの大切さを伝えた。2回実施、18人参加。	A	①	昔の人の知恵をかり、身近な暮らしの中で、ものを大切にすることを子どもたちに伝える機会として実施できたことは意義深かった。	
74	暮らし方の変革・地球システムへの適合	32	地球温暖化対策への取り組み	生活環境部	環境課	環境係	継続	家庭での節電を奨励するとともに、公共施設において市民が涼み(温まり)、交流できるスペースを確保し、市民の利用を促す。各施設は、市民が気軽に、気兼ねなく過ごせる工夫をする。	家庭での節電対策として公共施設の利用を促す。家庭での電力及びエネルギー消費量を削減し、市全体での節電効果を高める。	0					家庭での節電対策として、夏季は「福生まちなか涼み処」、冬季は「福生まちなか温み処」を公共施設9箇所で開催した。	A	①	2030年までに温室効果ガスの50%削減という、非常に大きな目標を掲げている。その中で公共施設を利用し、少ない予算で事業展開できた。	
75	暮らし方の変革・地球システムへの適合	32	地球温暖化対策への取り組み	生活環境部	環境課	環境係	新規	福生市で行う祭礼(福生七夕まつり、桜まつり等)における提燈の電球をLED化し、二酸化炭素の削減を図る。(福生スクラム・マイナス50%協議会事業)	福生市で行う祭礼(福生七夕まつり)における提燈の電球をLED化する。	[1,211,600]					福生市で行う祭礼(福生七夕まつり)における提燈の電球をLED化した。	A	①	LED化により、省エネルギーを推進した。	
76	暮らし方の変革・地球システムへの適合	32	地球温暖化対策への取り組み	都市建設部	道路公園課	道路グループ	継続	道路照明灯に使用されている水銀灯や蛍光灯、ナトリウム灯等をLED化することにより、二酸化炭素排出量の削減を図る。	平成26年度は標準の道路照明灯に加え、装飾灯、トンネル灯等のLED化を実施する。	95,300,280	土木費	道路橋りょう費	交通安全施設費	道路照明灯LED化事業費	道路照明灯 299基 装飾灯 133基 トンネル灯 31基	A	①	地球温暖化対策として取り組んだ本事業は、市が管理するすべての道路照明灯をLED化を図り、CO2の削減、電気料金的大幅削減など省エネへの転換を図った。	
77	暮らし方の変革・地球システムへの適合	32	地球温暖化対策への取り組み	教育委員会	図書館	わかたけ図書館	新規	改修により太陽光パネルを設置して自然エネルギーの活用及び環境学習の推進、照明のLED化、多摩産材の活用、冷暖房空調機器を個別空調化及び省エネ機器へ変更し地球温暖化対策の推進を図る。	平成25年度 実施設計 平成26年度 改良工事(内外装改修、屋上防水、冷暖房空調設備、エレベーター、だれでもトイレ、太陽光発電設備、LED照明、飛散防止フィルム、図書室増築等)	210,623,490	教育費	社会教育費	地域会館管理費	わかたけ会館改良事業費	・職員旅費 47,770円 ・消耗品費 20,000円 ・監理委託料 7,818,120円 ・備品等移転委託料 1,287,360円 ・工事請負費 201,450,240円	A	①	平成25年度作成の実施設計に盛り込まれた地球温暖化対策設備を、全て工事で施工できた。	
78	暮らし方の変革・地球システムへの適合	32	地球温暖化対策への取り組み	総務部	契約管財課	管財係	継続	自動車交通による大気汚染物質、温室効果ガスの排出を低減するため、省エネカーの普及に取り組む。	公用自転車及び電動アシスト自転車の積極的利用を促進する。補助金等予算措置が可能となれば、省エネカーへの買い換えに取り組む。平成26年度は3台を省エネカーに買い替える。	3,738,569	総務費	総務管理費	一般管理費	自動車管理費	新たに電動アシスト自転車3台を購入し、自転車の積極的利用を促した。また、庁舎の公用車3台を省エネカーに買い換えを行うとともに、タイヤ空気圧等の点検を毎月行い省エネに取り組んだ。庁内ネットワークの掲示板でやさしい運転で人、環境、車に優しい運転の啓発を行った。	A	①	電動アシスト自転車3台を新たに購入した。庁舎の公用車3台について省エネカーに買い換えた。公用車のタイヤ空気圧点検や職員向けの啓発も実施した。	
79	暮らし方の変革・地球システムへの適合	32	地球温暖化対策への取り組み	生活環境部	環境課	環境係	継続	再掲	電動アシスト自転車のサイクルシェアリングにより、市内回遊性の向上による地域活性化と低炭素な移動手段による地球温暖化対策として地球にやさしいまちづくりを目指す。(H25までの実証実験を踏まえ、H26から本格実施)(No.3)	本格実施に伴い、福生市公式イメージキャラを活用し「たっけー☆サイクル」として周知を図る。また、牛浜ステーションの移設、福祉センターへのステーション増設を計画。	11,474,661	衛生費	保健衛生費	環境保全費	サイクルシェアリング事業費	牛浜駅東口自転車駐車場内から牛浜駅東口駅舎下へのステーションの移設及び福祉センター駐車場内にステーション増設を行い、さらなる利便性の向上を図った。	A	①	南田園エリアにおけるステーション増設の要望に対応した。
80	暮らし方の変革・地球システムへの適合	32	地球温暖化対策への取り組み	総務部	安全安心まちづくり課	地域安全係	継続		駅前自転車等を放置しないようクリーンキャンペーンを実施。	年3回 春、秋、冬に実施。					春：福生駅、牛浜駅、拝島駅 秋：福生駅 冬：福生駅	A	②	実施しているが、放置自転車が無くならない。	
81	暮らし方の変革・地球システムへの適合	32	地球温暖化対策への取り組み	総務部	安全安心まちづくり課	地域安全係	継続		駅周辺に自転車等を放置させないため、指導、撤去、保管業務を委託。	指導、撤去、保管業務を委託。	12,716,130	総務費	総務管理費	交通安全対策費	駅周辺放置自転車等対策費	指導1,883台 撤去 904台 返還 607台	A	②	継続して実施しているが、放置自転車が無くならない。

平成26年度環境基本計画実行計画

No	環境基本計画体系			頁	事業名(施策・取組の方向性)	担当			再掲区分	内容	年度計画	決算額(円)	会計区分				平成26年度実績等				
						部	課	係					区分	款	項	目	事業	事業量(回数、参加人数等)	実施評価	状況評価	評価理由
82	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	④自転車のまちづくり	32	サイクルシェアリング事業	生活環境部	環境課	環境係	継続	再掲	11,474,661	衛生費	保健衛生費	環境保全費	サイクルシェアリング事業費	牛浜駅東口自転車駐車場内から牛浜駅東口駅舎下へのステーションの移設及び福祉センター駐車場内にステーション増設を行い、さらなる利便性の向上を図った。	A	①	南田園エリアにおけるステーション増設の要望に対応した。	
83	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	④自転車のまちづくり	32	自転車のまちづくり	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続		0						都市マスタープランに基づき、自転車使用の促進をめざし関係部署との連携に努めた。	B	②	都市マスタープランに基づき、自転車使用の促進をめざし関係部署との連携に努めた。
84	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	④自転車のまちづくり	32	自転車のまちづくり	都市建設部	道路公園課	管理・道路グループ	継続		0						放置自転車80台を回収した。	A	①	放置自転車は、1週間程度の待機期間後、速やかに回収した。
85	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	⑤公共交通の利用促進	32	公共交通の利用促進	企画財政部	企画調整課	基地・渉外担当	継続		63,000	総務費	総務管理費	一般管理費	渉外費		JRへの要望活動(7回)協議会等負担金 63,000円	A	①	JRを含む公共交通機関の利用促進のための利便性向上に向けて、関係する協議会等を通じて継続して要請を行っている。
86	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	公害防止・有害化学物質対策	①公害防止対策の推進	33	各種苦情処理	生活環境部	環境課	環境係	継続		0						市民からの苦情について、迅速に丁寧に対応した。(177件)	A	①	市民生活を脅かす公害問題に最優先に取り組み、市民の健康と生命の安全を第一に、公害のないまちづくりに努めた。
87	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	公害防止・有害化学物質対策	①公害防止対策の推進	33	各種分析委託(公害)	生活環境部	環境課	環境係	継続		2,365,200	衛生費	保健衛生費	環境保全費	公害対策費		市内の水質、大気といった公害の防止を進めるための実態調査を行った。また、市民等からの苦情についても、迅速に丁寧に対応した。	A	①	市民生活を脅かす公害問題に最優先に取り組み、市民の健康と生命の安全を第一に、公害のないまちづくりに努めた。
88	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	公害防止・有害化学物質対策	①公害防止対策の推進	33	航空機騒音測定器保守委託	生活環境部	環境課	環境係	継続		345,600	衛生費	保健衛生費	環境保全費	公害対策費		市内の航空機騒音といった公害の防止を進めるための実態調査を行った。また、市民等からの苦情についても、迅速に対応した。	A	①	市民生活を脅かす公害問題に積極的に取り組み、市民の健康と生命の安全を第一に、公害のないまちづくりに努めた。
89	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	公害防止・有害化学物質対策	①公害防止対策の推進	33	自動車騒音公害面的評価事業委託	生活環境部	環境課	環境係	継続		1,087,200	衛生費	保健衛生費	環境保全費	公害対策費		市内の自動車騒音、振動等の公害の防止を進めるために、市内でセンサス区間に指定されている幹線道路の自動車騒音調査を5箇所行った。	A	①	市民生活を脅かす公害問題に最優先に取り組み、市民の健康と生命の安全を第一に、公害のないまちづくりに努めた。
90	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	公害防止・有害化学物質対策	①公害防止対策の推進	33	自動車騒音調査委託	生活環境部	環境課	環境係	継続		900,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	公害対策費		「騒音規制法第17条第1項の規定に基づく指定地域内における自動車騒音の限度を定める省令」「振動規制法施行規則第12条」に基づき処理する。	A	①	市民生活を脅かす公害問題に最優先に取り組み、市民の健康と生命の安全を第一に、公害のないまちづくりに努めた。
91	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	公害防止・有害化学物質対策	①公害防止対策の推進	33	横田基地航空機騒音対策の推進	企画財政部	企画調整課	基地・渉外担当	継続		252,000	総務費	総務管理費	一般管理費	渉外費		国及び米軍に対しての要望活動(37回)協議会等負担金 252,000円	A	①	関係市町及び東京都と連携を取りながら騒音測定を継続するとともに、必要に応じて関係機関に対し航空機騒音対策を要請している。

平成26年度環境基本計画実行計画

No	環境基本計画体系				頁	事業名(施策・取組の方向性)	担当				再掲区分	内容	年度計画	決算額(円)	会計区分				平成26年度実績等			
							部	課	係	区分					款	項	目	事業	事業量(回数、参加人数等)	実施評価	状況評価	評価理由
92	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	公害防止・有害化学物質対策	②有害化学物質対策の推進	33	東京都環境・公害事務連絡協議会	生活環境部	環境課	環境係	継続		26市で構成する東京都環境・公害事務連絡協議会への参加し、近隣市との連絡調整・情報共有等を行う	協議会6回、研修会等2回(負担金)	5,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	公害対策費	協議会6回、研修会等2回に参加。	A	①	環境に関する法改正や新たな環境問題の対応について、他市と有用な情報交換ができた。
93	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	公害防止・有害化学物質対策	②有害化学物質対策の推進	33	有害化学物質対策の推進	生活環境部	環境課	環境係	継続		都環境確保条例に基づく事業所報告を指導するとともに、健康への悪影響、生態系のかく乱につながる有害化学物質の情報収集・提供、拡散防止に取り組む。	アスベストやその有害化学物質の発生・発見について、速やかな情報収集・情報提供・報告等を行っていく。	0					市内のアスベストやその有害化学物質等の公害防止を進めるための速やかな情報収集・情報提供・報告等を行っていったまた、市民等からの苦情についても、迅速に丁寧に対応した。	A	①	市民生活を脅かす公害問題に最優先に取り組み、市民の健康と生命の安全を第一に、公害のないまちづくりに努めた。
94	環境教育・学習の推進	①学校における環境教育の推進			34	環境学習教員研修	生活環境部	環境課	環境係	継続		教員1年目(初任者)、2年目の教員及び環境教育に関心のある教員を対象に、福生市の自然と環境について学ぶ環境学習研修を実施する。	小・中学校教員対象の環境教育研修を開催する。	51,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	新規採用1、2年目の教員を対象に環境学習教員研修を2日間実施した。第1回フィールドで学ぶ「水質調査、生物調査、川の安全学習」(8人)、第2回福生の水と緑を歩く(17人)	A	①	小・中学校教員対象に環境教育研修会を確実に実施した。
95	環境教育・学習の推進	①学校における環境教育の推進			34	「ごみのゆくえ」作成	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続		小学生を対象とした環境教育の推進	小学校4年生の社会科学習において、活用するため「ごみのゆくえ」を作成する。	99,360	衛生費	清掃費	ごみ減量対策費	ごみ減量対策費	社会科の授業の副読本として1小から7小へ455部配布した。	A	①	ごみ・資源分別の意識向上を図った。
96	環境教育・学習の推進	①学校における環境教育の推進			34	学校における環境教育の推進	教育委員会	教育指導課	指導係	継続		学校での環境教育の推進	小学校4年生の社会科学習において、「ごみのゆくえ」(環境課作成)を活用。各学校で総合的な学習の時間等において、環境教育に係る取組を実施する。	87,000	教育費	教育総務費	教育指導費	教育指導事務費	・小学4年生の社会科学習において、資料として「ごみのゆくえ」を活用 ・総合的な学習の時間等に学習活動市民講師を活用(活動回数 19回)	A	①	小学4年生の社会科学習に福生市作成の資料を活用することで、児童の地域への参画意識を高めた。学習活動市民講師を活用した環境教育を実施した。
97	環境教育・学習の推進	①学校における環境教育の推進			34	環境学習教員研修	教育委員会	教育指導課	指導係	継続	再掲	学校の環境教育を支援する体制の整備として環境課主催の環境学習教員研修への教員の参加。(No.96)	小・中学校教員対象の環境教育研修会(環境課)へ教員を参加させ、環境教育の体制整備を図る。(No.94)	0				実施回数 4回 8/4(午前・午後):参加者9人 8/5(午前・午後):参加者17人	A	①	小・中学校教員対象の環境教育研修会を通じて、教員の資質向上を図った。	
98	環境教育・学習の推進	①学校における環境教育の推進			34	理科支援員報奨金	教育委員会	教育指導課	指導係	継続		学校の環境教育を支援する体制の整備として理科支援員を配置	小・中学校の理科授業における体験的な学習を充実させるため、観察・実験等の支援を行う理科支援員を配置する。 〔配置対象学年〕 小学校(5・6年) 中学校(全学年)	1,551,420	教育費	教育総務費	教育委員会費	理数教育推進事業費	理科支援員活動時間1,521時間	A	①	理科支援員を有効に活用し、理科学習の効果的な展開を図った。
99	環境教育・学習の推進	①学校における環境教育の推進			34	学習指導市民講師謝礼	教育委員会	教育指導課	指導係	継続		学校の環境教育を支援する体制の整備として学習指導市民講師による指導を行う。	学習指導市民講師(NPO法人自然環境アカデミー等)による指導を実施する。	87,000	教育費	教育総務費	教育指導費	教育指導事務費	学習活動市民講師活動回数19回(再掲)	A	①	環境学習活動を取り入れた学校が、平成25年度実比1校増
100	環境教育・学習の推進	②地域・市民の環境学習の推進			34	川の志民館の運営	生活環境部	環境課	環境係	継続		市民と行政がすすめる多摩川リバーミュージアムプラン(自然・歴史・文化情報の収集・発信の支援、水と緑を中心とした学習・研究活動の展開、多摩川をフィールドとした環境学習の展開支援、自然を大切に「まちづくり」への各種活動の展開)を目的とした運営拠点施設の維持管理。	川の志民館の運営(予算は警備委託費)	172,368	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	川の志民館の常時集中監視及び、異常を感じた際の対応。実施状況を月単位で報告。	A	①	常時集中監視が適切に行われた。
101	環境教育・学習の推進	②地域・市民の環境学習の推進			34	協働のまちづくり市政出前講座	生活環境部	協働推進課	協働推進・男女平等推進担当	継続		市民で構成する団体が開催する学習活動の場に市職員を講師として派遣し、市政の現状を学ぶ機会や行政情報を提供する機会の拡充を図る。	74講座(官公署を含む)により市政出前講座を実施する。	0					実施件数 31件 受講者数 799名	A	①	実施件数、受講者数の実績より
102	環境教育・学習の推進	②地域・市民の環境学習の推進			34	市民ボランティア文化財ガイド事業	教育委員会	生涯学習推進課	文化財係	継続	再掲	文化財ガイド養成講座修了者による市内文化財ツアー等の実施。(No.37)	市内文化財ツアー等を実施(年4回程度)(講師謝礼)	20,000	教育費	社会教育費	文化財保護費	講座教室講師謝礼	市内文化財ツアー2回、参加者38人 ガイドフォローアップ講座1回10人	B	①	雨天中止等で実施回数が2回となったため。
103	環境教育・学習の推進	②地域・市民の環境学習の推進			34	地域・市民の環境学習の推進	教育委員会	公民館	公民館係	継続		青少年を対象とした体験・学習機会の拡充	自然体験活動の充実を図る(夏休み自然体験教室)	302,328	教育費	社会教育費	公民館費	講座等開設費	自然体験教室1回9日、延べ106名参加	B	②	プログラムのうち、キャンプが1泊での実施であったため。
104	環境教育・学習の推進	②地域・市民の環境学習の推進			34	夏休み子ども見学会	教育委員会	生涯学習推進課	文化財係	継続		子どもを対象とした学習施設の見学	夏休み子ども見学会を実施する(葛西臨海水族園等1回)。	10,100	教育費	社会教育費	文化財保護費	有料道路使用料等	夏休み子ども見学会1回、参加者23人	A	①	内容、参加者等予定通り実施。
105	環境教育・学習の推進	②地域・市民の環境学習の推進			34	ふっさ環境フェスティバル	生活環境部	環境課	環境係	継続		環境にやさしいライフスタイルや自然との共生について関心を高める。	第12回ふっさ環境フェスティバルの実施(6/1)	1,500,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	実施日6月1日、参加団体43団体、来場者4,500人	A	①	イベントや事業を通じ、市民が身近に環境について考え学び活動できた。

平成26年度環境基本計画実行計画

No	環境基本計画体系			頁	事業名(施策・取組の方向性)	担当			再掲区分	内容	年度計画	決算額(円)	会計区分				平成26年度実績等			
						部	課	係					款	項	目	事業	事業量(回数、参加人数等)	実施評価	状況評価	評価理由
106	環境教育・学習の推進	②地域・市民の環境学習の推進		34	福生水辺の楽校	生活環境部	環境課	環境係	継続	再掲	子どもや親子を対象とした体験・学習機会の拡充。(No.22)	1,400,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	福生水辺の楽校“多摩川で遊ぼう”全12回(1回中止)477人。福生水辺の楽校“多摩川サポーターズ”全4回107人。	A	①	福生水辺の楽校運営協議会への委託事業。毎年参加者から好評を得て実施している。
107	環境教育・学習の推進	②地域・市民の環境学習の推進		34	みどりのカーテン大作戦	生活環境部	環境課	環境係	継続		みどりのカーテンを推奨し、促進するため講習会を実施し地域・市民の環境学習を推進する。(福生スクラムマイナス50%協議会事業)	[156,671]					みどりのカーテン講習会:4月19日実施、参加者32人。みどりのカーテンコンテスト表彰式:11月19日実施、15組応募。優秀者に表彰及び記念品を授与。ふっさ環境フェスティバルでゴーヤの苗配布(600ヶ)	A	①	講習会には多くの参加者があり、講習会での内容を理解し、みどりのカーテンを見事に作り、コンテストに多くの参加が見られた。
108	環境教育・学習の推進	②地域・市民の環境学習の推進		34	環境学習講座	生活環境部	環境課	環境係	継続		環境に関して楽しく学習する機会を設け、環境リーダーの育成を目指す。(福生スクラム・マイナス50%協議会事業)	[72,805]					全6回の環境学習講座を実施。参加者10人、延べ46人。	A	①	学習講座を通じ、市民が環境についての知識を深めることができた。
109	環境教育・学習の推進	②地域・市民の環境学習の推進		34	環境保全フォーラム	生活環境部	環境課	環境係	新規		地域環境及び地球環境の保全と、子どもたちへの環境教育啓発に資するため、より楽しく実践的に取り組める講演会の実施	1,800,235	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	環境に関する専門家として、東京海洋大学客員准教授の「さかなクン」を講師に招き、環境について楽しく学べる、講演会を行った。参加者:400名	A	①	福生市の地域環境及び地球環境の保全と子どもたちへの環境教育の啓発に資することができた。
110	環境教育・学習の推進	②地域・市民の環境学習の推進		34	市民環境大学「ふっさECOカフェ」	生活環境部	環境課	環境係	継続	再掲	自然とともに暮らすを楽しみ、自分らしいエコスタイルの発見、環境への負荷が少ない持続可能な暮らし方を考える場として実施。畑での大豆を栽培し、収穫した大豆で豆腐作り等を行う講座を開催する。(No.58)	708,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	大豆栽培、枝豆収穫、豆腐作り。全6回、延べ111人。	A	①	事業を通じ、市民が身近に環境について考え学び活動できた。
111	パートナーシップの確立	協働事業の明確化		35	協働事業について	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続		景観調査	0					まちづくり景観推進連絡会と継続して景観について協議していく。	A	①	景観推進連絡会を毎月開催するとともに、協働により宿橋通りの整備を図った。
112	パートナーシップの確立	協働事業の明確化		35	協働事業について	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続		玉川上水遊歩道調査、散策ガイドマップ作成	0					玉川上水遊歩道が福生市内で途切れているため、遊歩道の整備について検討していく。	B	②	玉川上水遊歩道を考える会と調整しながら進めた。
113	パートナーシップの確立	協働事業の明確化		35	協働事業について	都市建設部	道路公園課	管理・公園グループ	継続		萌芽更新等	0					萌芽更新、公園ボランティア、公園草花植栽、道路美化ボランティア、違反広告物撤去協力員	A	①	協働により、市内の景観美化が図られた。
114	パートナーシップの確立	協働事業の明確化		35	地域猫去勢・不妊手術費助成金	生活環境部	環境課	環境係	継続	再掲	地域猫の会がモデル地区の飼い主のいない猫に対して、給餌や糞尿処理などを行い、去勢・不妊手術を施し、飼い主のいない猫の適正な飼養管理を行っていく。	702,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	市民団体と協力し地域猫制度等のPRに努めるとともに飼い主のモラルの向上を働きかける。団体には去勢・不妊手術費の助成を行う。	B	②	手術件数は順調なもの、飼い主のいない猫の問題の解決には至っていない。
115	パートナーシップの確立	協働事業の明確化		35	福生スクラム・マイナス50%協議会	生活環境部	環境課	環境係	継続		福生スクラムマイナス50%協議会により、みどり東京補助金の活用を図り、環境関連事業への取組みを支援する。	0					福生スクラムマイナス50%協議会の開催。	A	①	5事業を実施した。 ①祭礼提燈LED化事業 ②みどりのカーテン大作戦 ③花いっぱい運動 ④ふっさ環境フェスティバル ⑤環境学習講座
116	パートナーシップの確立	協働事業の明確化		35	フリーマーケット	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ	継続	再掲	定期的なフリーマーケット開催を支援することで、消費者自らが時代に即応した確かな目ものを見分け、自らの力で自主的、合理的な消費生活の実現をめざして行動することを支援する。(No.73)	0					市民団体が実施する自由広場フリーマーケットの開催(年4回)の広報支援等を行う。	A	①	広報4回、ホームページ6回更新、情報メール2回実施し周知を図った。
117	パートナーシップの確立	町会・自治会への働きかけ		35	地域主体の環境まちづくり活動	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続		景観まちづくり	0					まちづくり景観推進連絡会との協働により、宿橋通りを歩車共存の道路として工事を進めていく。	A	①	まちづくり景観推進連絡会との協働により、宿橋通りを歩車共存の道路として工事を進めることができた。
118	パートナーシップの確立	町会・自治会への働きかけ		35	地域主体の環境まちづくり活動	都市建設部	道路公園課	管理・公園グループ	継続		公園ボランティア、道路清掃美化ボランティア、違反広告撤去協力員	0					引き続きの公園ボランティア、道路清掃美化ボランティア、違反広告撤去協力員の推進に取り組んでいく。	A	①	道路美化ボランティア18団体・373名 違反広告物撤去協力員17団体・114名

平成26年度環境基本計画実行計画

No	環境基本計画体系			頁	事業名(施策・取組の方向性)	担当			再掲区分	内容	年度計画	決算額(円)	会計区分				平成26年度実績等			
						部	課	係					款	項	目	事業	事業量(回数、参加人数等)	実施評価	状況評価	評価理由
119	パートナーシップの確立	町会・自治会への働きかけ		35	地域主体の環境まちづくり活動	都市建設部	道路公園課	道路・公園グループ	継続	一斉清掃及び河川一斉清掃	市民と協働した河川一斉清掃、熊川分水の清掃活動に取り組んでいく。	0					年1回	A	①	継続して順調に行っている
120	パートナーシップの確立	町会・自治会への働きかけ		35	地域猫去勢・不妊手術費助成金	生活環境部	環境課	環境係	継続	再掲	地域猫の会がモデル地区の飼い主のいない猫に対して、給餌や糞尿処理などを行い、去勢・不妊手術を施し、飼い主のいない猫の適正な飼養管理を行っていく。(No.114)	702,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	オス36頭、メス43頭 計79頭	B	②	手術件数は順調なもの、飼い主のいない猫の問題の解決には至っていない。
121	パートナーシップの確立	町会・自治会への働きかけ		35	フリーマーケット	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ	継続	再掲	定期的なフリーマーケット開催を支援することで、消費者自らが時代に即応した確かな目でものを見分け、自らの力で自主的、合理的な消費生活の実現をめざして行動することを支援する。(No.71)	0					広報4回、ホームページ6回更新、情報メール2回実施し周知を図った。	A	①	定期的な周知による支援を実施した。
122	パートナーシップの確立	町会・自治会への働きかけ		35	ふっさ花いっぱい運動委託	生活環境部	環境課	環境係	継続	再掲	花と緑のあるまちづくりのため春と秋の花いっぱい運動に合わせたふっさ花とみどりの会の活動により、花いっぱい満ちあふれたまちづくり事業を展開していく。(No.60)	686,000 [58,924]	農林水産業費	農業費	緑化推進費	緑化推進費	花いっぱい運動やふっさ花とみどりの会の活動により、やなぎ通り110箇所、国道16号53箇所の植栽を行った。	A	①	春と秋の花いっぱい運動、プランターや植栽ますの植栽を通し、市内を花いっぴいに潤すことができた。
123	パートナーシップの確立	町会・自治会への働きかけ		35	草花苗生産委託	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ	継続	再掲	「花いっぱい運動」など市民の緑化活動との連携を図り、花苗の生産委託を行う。(No.61)	7,255,450	農林水産業費	農業費	農業振興費	農業振興費	グリーンクラブ福生へ草花苗の生産委託を行う。	A	①	緑豊かな環境づくりに寄与した。
124	パートナーシップの確立	協働による事業推進の方法の確立	①市民による環境まちづくり活動への支援	36	市民活動災害補償制度	生活環境部	協働推進課	協働推進・男女平等推進担当	継続		市民活動中に不測の事故により、賠償責任を負った場合、事故によって死亡し、又は傷害を負った場合の補償をすることにより、市民活動の健全な発展と向上、住みよい活力あるまちの実現を図る。	585,550	総務費	総務管理費	諸費	市民活動推進費	傷害補償 2件 18,000円	A	①	市民等が活動しやすい環境の整備ができています。
125	パートナーシップの確立	協働による事業推進の方法の確立	①市民による環境まちづくり活動への支援	36	地域活性化交付金	生活環境部	協働推進課	協働推進・男女平等推進担当	継続		地域社会における住民の福祉及び連帯意識の高揚を図るため、町会・自治会が行う各種事業に対し、交付金を交付することにより地域の活性化を図る。	9,014,528	総務費	総務管理費	諸費	町会等関係費	34団体 9,014,528円	A	①	町会・自治会が行う各種事業に対し、交付金を交付することで地域の活性化を図っている。
126	パートナーシップの確立	協働による事業推進の方法の確立	②市の政策決定・事業における市民参加の促進	36	協働事業推進会議	生活環境部	協働推進課	協働推進・男女平等推進担当	継続		各種マスタープラン策定における市民参加の徹底をはじめ、公園整備など各種の事業化・事業実施段階での地域・市民の参画を推進し、市民・事業者・行政の協働による事業展開に取り組む。	0					協働事業推進会議設置要綱に基づき、会議及び協働事業推進委員会を開催し、各部署での協働事業の推進を図る。	A	①	協働推進会議を行い、各部署での協働事業の推進を図っている。
127	計画推進体制の確立	環境マネジメントシステムのレベルアップ		37	福生市環境マネジメントシステム(F-e)	生活環境部	環境課	環境係	継続		平成26年度から「F-e」(福生市環境マネジメントシステム)により地球温暖化対策を進める。 (「F-e」は平成20年度から運用するLAS-Eを土台とした市民と協働したマネジメントシステム。)	963,020	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	外部監査:平成27年1月27日～29日、59実行部門中28実行部門、推進組織及び事務局 予備監査:平成27年1月15日、7実行部門 環境推進委員会:3回 目標設定チーム会議:1回 環境マネージャー会議:2回 監査チーム会議:3回	A	②	計画通りに実施できた。数値目標の一部については目標達成に至らなかった。
128	計画推進体制の確立	事業化システムの研究	①実施状況の公表、環境情報の提供	37	「かんきょう通信」	生活環境部	環境課	環境係	継続		環境に関する情報等を発信するため、市民編集員と協働し「かんきょう通信」を発行する。	455,567	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	かんきょう通信の発行(5月第36号・2月第37号)	A	①	かんきょう通信の発行と市内全戸に配布できた。
129	計画推進体制の確立	事業化システムの研究	①実施状況の公表、環境情報の提供	37	福生市環境白書	生活環境部	環境課	環境係	継続		環境に関する各種モニタリング情報の収集・整備を進めるとともに、計画の進捗状況を公表する。	71,928	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	福生市環境白書『福生市の環境平成25年度版』の発行、ホームページへ掲載	A	①	環境白書の発行、ホームページ掲載を通じ、福生市の環境について公表できた。
130	計画推進体制の確立	事業化システムの研究	①実施状況の公表、環境情報の提供		環境基本計画等改定委託	生活環境部	環境課	環境係	新規		環境基本計画中期実施計画及び地球温暖化対策実行計画の改定	3,192,264	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	「環境に関する市民意識調査」は3,000人に行い、回収数は910人(回収率30.3%)であった。また、環境市民会議を5回開催し、担当課ヒアリングをふまえた市民提言を作成した。	A	①	「市民意識調査」を実施し、環境市民会議による担当課ヒアリングを行い、市民提言を作成した。
131	計画推進体制の確立	事業化システムの研究	③環境マネジメントシステムの強化	38	環境自治体会議への参加	生活環境部	環境課	環境係	継続		環境行政についての取組みの情報交換を行う。	50,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	環境自治体会議からの情報を逐次活用した。	A	②	環境行政についての取組みの情報交換ができた。

平成26年度環境基本計画実行計画

No	環境基本計画体系				頁	事業名（施策・取組の方向性）	担当			区分	再掲区分	内容	年度計画	決算額（円）	会計区分				平成26年度実績等			
							部	課	係						款	項	目	事業	事業量（回数、参加人数等）	実施評価	状況評価	評価理由
132	計画推進体制の確立	事業化システムの研究	④事業所としての率先行動の推進		38	福生市環境マネジメントシステム（F-e）	生活環境部	環境課	環境係	継続	再掲	平成26年度から「F-e」（福生市環境マネジメントシステム）により地球温暖化対策を進める。（「F-e」は平成20年度から運用するLAS-Eを土台とした市民と協働したマネジメントシステム。）（No.127）	「F-e」（福生市環境マネジメントシステム）の効果的な運営とするため市民監査委員とともにシステムの見直しを随時図っていく。	93,500	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	外部監査：平成27年1月27日～29日、59実行部門中28実行部門、推進組織及び事務局 予備監査：平成27年1月15日、7実行部門 環境推進委員会：3回 目標設定チーム会議：1回 環境マネージャー会議：2回 監査チーム会議：3回	A	②	計画通りに実施できた。数値目標の一部については目標達成に至らなかった。
133	計画推進体制の確立	事業化システムの研究	⑤環境審議会の開催		38	環境審議会	生活環境部	環境課	環境係	継続		市の環境政策について専門的な立場から、評価・指導を得るため環境審議会を定期的開催する。	福生市の環境施策、環境問題、環境基本計画実行計画等について、環境審議会を実施する。 開催予定：2回	93,500	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	環境審議会2回開催（7月15日、11月27日）	A	①	環境基本計画実行計画、「市民提言(案)」について審議を行った。